

NYマーケットレポート (2016年11月29日)

NY市場では、序盤に発表された7-9月期の米GDPが市場予想を上回り、2014年7-9月期以来の大きな伸びとなったことや、米消費者信頼感指数が2007年7月以来の高水準となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。ただ、OPEC総会を控えて減産合意に対する不透明感から原油価格が下落したことや、米長期債利回りが低下したことから、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。

2016年11月29日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.32	112.39	111.64
EUR/JPY	119.10	119.10	118.56
GBP/JPY	139.31	139.44	138.53
AUD/JPY	83.94	83.99	83.61
EUR/USD	1.0603	1.0622	1.0588

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.15	112.16
EUR/JPY	119.70	119.01
GBP/JPY	141.06	139.21
AUD/JPY	84.24	83.89
EUR/USD	1.0615	1.0579

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.31	113.35	112.28
EUR/JPY	119.65	119.98	119.47
GBP/JPY	140.32	141.38	140.31
AUD/JPY	84.10	84.38	84.03
NZD/JPY	80.08	80.40	80.05
EUR/USD	1.0655	1.0655	1.0566
AUD/USD	0.7488	0.7491	0.7433

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19121.60	+23.70
S&P500	2204.66	+2.94
NASDAQ	5379.92	+11.11
日経225 (CME)	18355	+75
トロント総合	14999.81	-15.55
ボルサ指数	45372.19	-98.42
ボベスパ指数	60986.52	-1868.98

11/30 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月鉱工業生産
09:00	【ニュージーランド】11月ANZ企業景況感
09:01	【英国】11月GfK消費者信頼感調査
09:30	【オーストラリア】10月住宅建設許可件数
13:00	【日本】10月自動車生産
14:00	【日本】10月住宅着工戸数・10月建設工事受注
14:00	【日本】11月中小企業景況判断
16:00	【トルコ】10月貿易収支
16:00	【ドイツ】10月小売売上高指数
16:45	【フランス】10月生産者物価指数
16:45	【フランス】11月消費者物価指数
17:55	【ドイツ】11月失業率・11月失業者数
18:00	【ポーランド】3Q GDP
19:00	【欧州】11月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】10月財政収支・10月貿易収支
21:00	【米国】10月MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】11月消費者物価指数
22:15	【米国】11月ADP雇用統計
22:30	【米国】10月PCEコア・デフレーター
22:30	【米国】10月個人所得・10月個人支出
22:30	【カナダ】9月GDP
22:30	【カナダ】10月鉱工業製品価格・10月原料価格指数
23:45	【米国】11月シカゴ購買部協会景気指数
00:00	【米国】10月中古住宅販売成約
04:00	【米国】12月米地区連銀経済報告[ページブック]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1187.90	-2.90
NY 原油	45.23	-1.85
CME コーン	349.00	-9.25
CBOT 大豆	1042.50	-13.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.095%	1.103%
3年債	1.349%	1.362%
5年債	1.783%	1.793%
7年債	2.113%	2.123%
10年債	2.300%	2.312%
30年債	2.953%	2.976%

ドイツ10年債	0.221%	0.205%
英国10年債	1.370%	1.380%

11/30 主要会議・講演・その他予定

- ・欧州議会本会議 (～1日)
- ・パウエルFRB理事 講演
- ・ダラス、クリーブランド連銀総裁 講演

NY 市場レポート

22 : 00

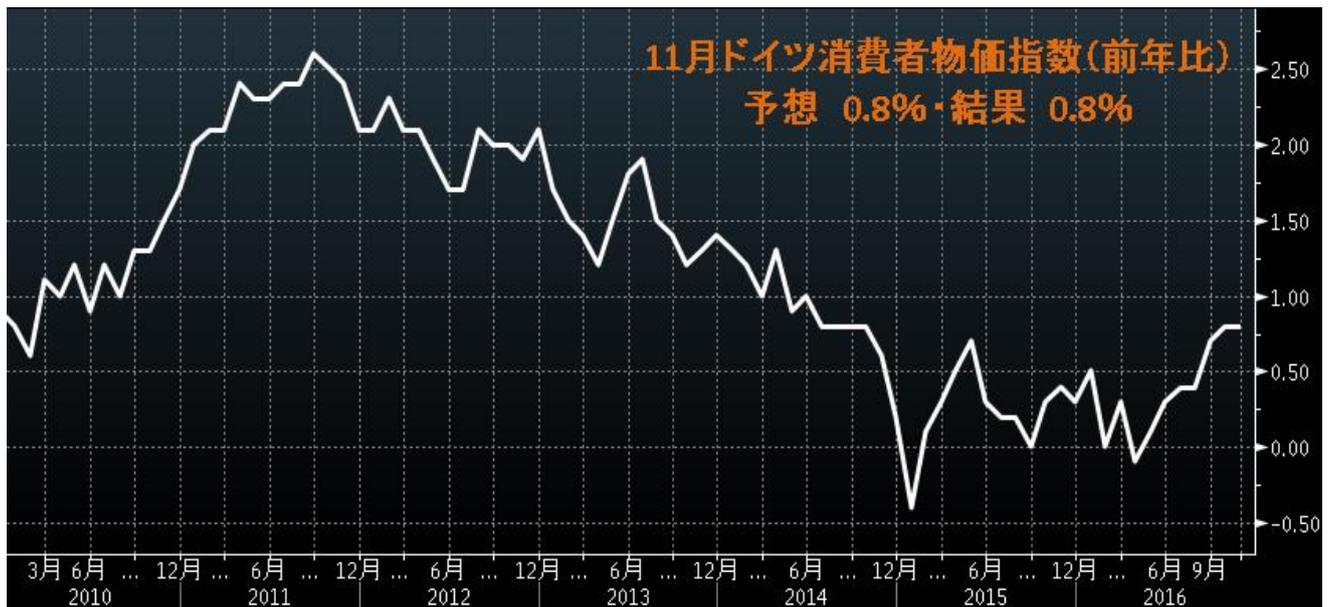
◀ 経済指標の結果 ▶

11 月ドイツ消費者物価指数 (前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.2%)

11 月ドイツ消費者物価指数 (前年比) 0.8% (予想 0.8%・前回 0.8%)

11 月ドイツ EU 基準消費者物価指数 (前月比) 0.0% (予想 0.1%・前回 0.2%)

11 月ドイツ EU 基準消費者物価指数 (前年比) 0.7% (予想 0.8%・前回 0.7%)



出所 : Bloomberg



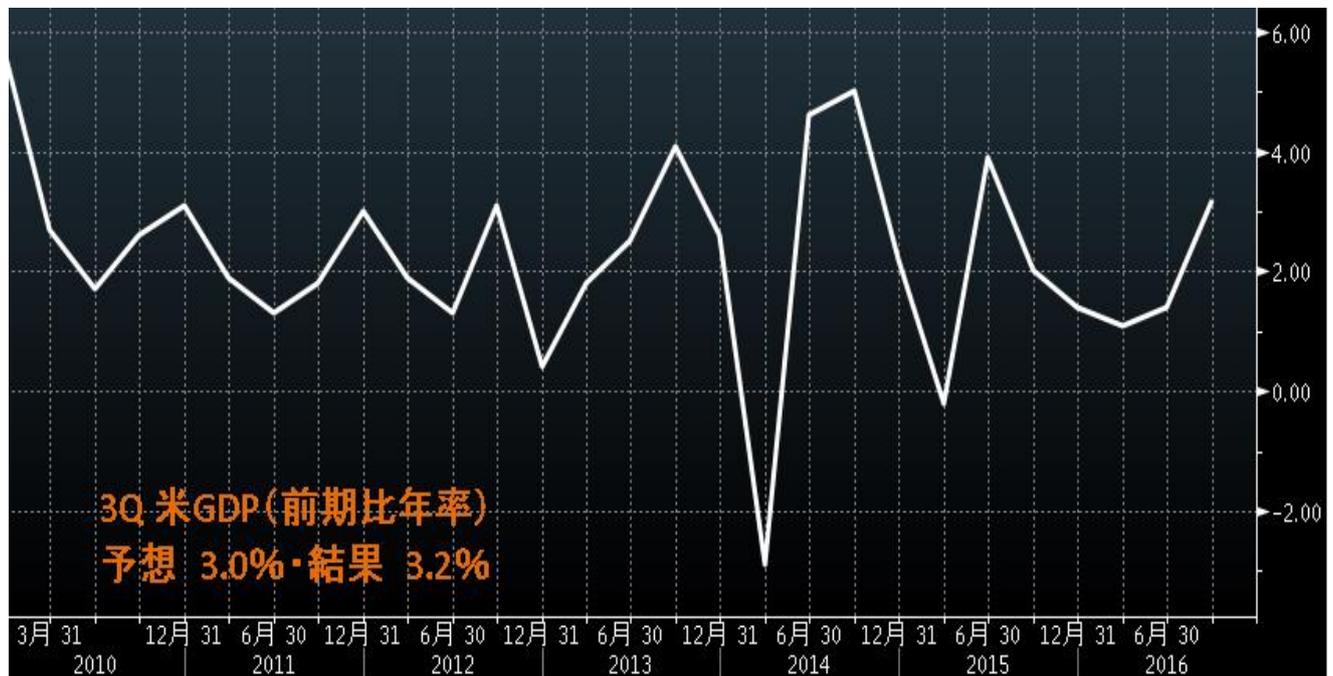
出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米 GDP (前期比年率) 3.2% (予想 3.0%・前回 2.9%)

3Q 米個人消費 (前期比) 2.8% (予想 2.3%・前回 2.1%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀米 GDP▶

	3Q 改定	3Q 速報	2Q	1Q	4Q	3Q
GDP	3.2	2.9	1.4	0.8	0.9	2.0
個人消費	2.8	2.1	4.3	1.6	2.3	3.0
耐久消費財	11.6	9.5	9.8	-0.6	4.0	6.2
非耐久消費財	-0.6	-1.4	5.7	2.1	1.2	3.2
サービス	2.5	2.1	3.0	1.9	2.3	2.0
住宅投資	-4.4	-6.2	-7.7	7.8	10.1	8.2
輸出	10.1	10.0	1.8	-0.7	-2.7	-2.8
輸入	2.1	2.3	0.2	-0.6	0.7	1.1
政府支出	0.2	0.5	-1.7	1.6	1.0	1.9
最終需要	2.7	2.3	2.6	1.2	1.2	2.6
国内最終需要	1.7	1.4	2.4	1.2	1.7	3.0

7-9 月期の米 GDP 改定値は、市場予想の+3.0%を上回る前期比+3.2%となり、2014 年 7-9 月期以来の大きな伸びとなった。GDP の約 7 割を占める個人消費が速報値から上方修正され、企業の設備投資の下方修正分を補った。

- ①個人消費は+2.8%と速報値から 0.7 ポイント上方修正され、自動車販売をはじめとした耐久財が好調だったが、非耐久財はマイナスとなった。
- ②輸出は+10.1%と 0.1 ポイントの上方修正、輸入は+2.1%で 0.2 ポイント下方修正された。企業の設備投資は+0.1%とプラス幅は 1.1 ポイント縮小、住宅投資は-4.4%とマイナス幅が 1.8 ポイント縮小した。
- ③政府支出は+0.2%と速報値から下方修正、連邦政府は速報値と変わらず、州・地方政府は-1.1%と速報値から 0.4 ポイント下方修正された。
- ④FRB が物価安定の目安とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同期比+1.0%、変動の激しい食品とエネルギーを除く上昇率は+1.7%と速報値から変わらず。

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q カナダ経常収支 -183.0 億 CAD (予想 -165.0 億 CAD・前回 -190.2 億 CAD)
 前回発表の-198.6 億 CAD から-190.2 億 CAD に修正



出所: Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 191.78 (前回 191.53)
 前回発表の 191.66 から 191.53 に修正

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) 0.37% (予想 0.40%・前回 0.30%)
 前回発表の 0.24%から 0.30 に修正

9 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 5.08% (予想 5.20%・前回 5.06%)
 前回発表の 5.13%から 5.06 に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ S&P/ケース・シラー住宅価格指数 ▶

(米主要 20 都市) 季調前

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
指数	191.78	191.53	190.80	189.75	188.26	186.62
前月比	0.13	0.38	0.55	0.79	0.88	1.13
前年比	5.08	5.06	4.96	5.05	5.22	5.44

(米主要 10 都市) 季調前

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
指数	205.77	205.52	204.77	203.72	202.30	200.80
前月比	0.12	0.37	0.52	0.70	0.75	1.03
前年比	4.28	4.23	4.10	4.19	4.40	4.71

9 月 S&P ケース・シラー米 20 都市住宅価格指数は、前年比+5.08%、前月比で+0.37%となった。また、全米ベースの価格指数は前年比+5.46%となり、統計開始以降で最高となった。住宅価格指数は、前年比において 20 都市全てで上昇となった。上昇率が最も大きかったのはシアトルで+11.0%、オレゴン州ポートランドで+10.9%、上昇率が最も小さかったのはニューヨークで+1.8%だった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米消費者信頼感指数 107.1 (予想 101.5・前回 100.8)
 前回発表の 98.6 から 100.8 に修正



出所：Bloomberg

経済指標データ

＜消費者信頼感指数＞

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
信頼感指数	107.1	100.8	103.5	101.8	96.7	97.4
現況指数	130.3	123.1	127.9	125.3	118.8	116.6
期待指数	91.7	86.0	87.2	86.1	82.0	84.6

【現況指数(業況)】

良好	29.2	26.5	27.7	30.3	27.3	26.8
悪化	14.8	17.3	15.8	18.2	18.5	18.3
普通	56.0	56.2	56.5	51.5	54.2	54.9

【雇用】

十分	26.9	25.3	27.6	26.8	23.0	23.2
不十分	51.4	53.0	50.1	50.4	54.9	53.1
困難	21.7	21.7	22.3	22.8	22.1	23.7

【半年先】

業況						
改善	15.3	16.4	17.0	17.6	15.7	16.6
悪化	10.0	11.8	10.8	11.4	12.4	11.2
横ばい	74.7	71.8	72.2	71.0	71.9	72.2
雇用						
改善	14.5	14.4	15.7	14.4	13.5	13.9
悪化	13.8	16.6	18.1	17.5	17.4	17.7
横ばい	71.7	69.0	66.2	68.1	69.1	68.4

11月の米消費者信頼感指数は、市場予想の101.5を上回る107.1と前月の100.8から上昇となり、2007年7月以来の高水準となった。労働市場や経済に関する楽観が強まった。現況指数は130.3と、前月の123.1から上昇し、2007年7月以来の高水準。向こう6カ月の期待指数は91.7と、前月の86を上回り、2015年6月以来の高水準となった。雇用が十分との回答は26.9%（前月25.3%）、ビジネス環境が良好との回答は29.2（前月26.5%）、今後6カ月間で所得が増えるとの回答は17.5%（前月17.4%）だった。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、7-9 月期の米 GDP 改定値が市場予想を上回ったことや、11 月の消費者信頼感指数も大きく改善したことで、今後の利上げペースが加速するとの警戒感が広がり、売りが先行した。ただ、OPEC の定時総会を 30 日に控えて投資家のリスク回避志向が強まり、安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きもあった。

午前の利回りは、30 年債が 2.99% (前日 2.97%)、10 年債が 2.34% (2.31%)、7 年債が 2.15% (2.12%)、5 年債が 1.82% (1.79%)、3 年債が 1.38% (1.36%)、2 年債が 1.11% (1.10%)。

2 : 45

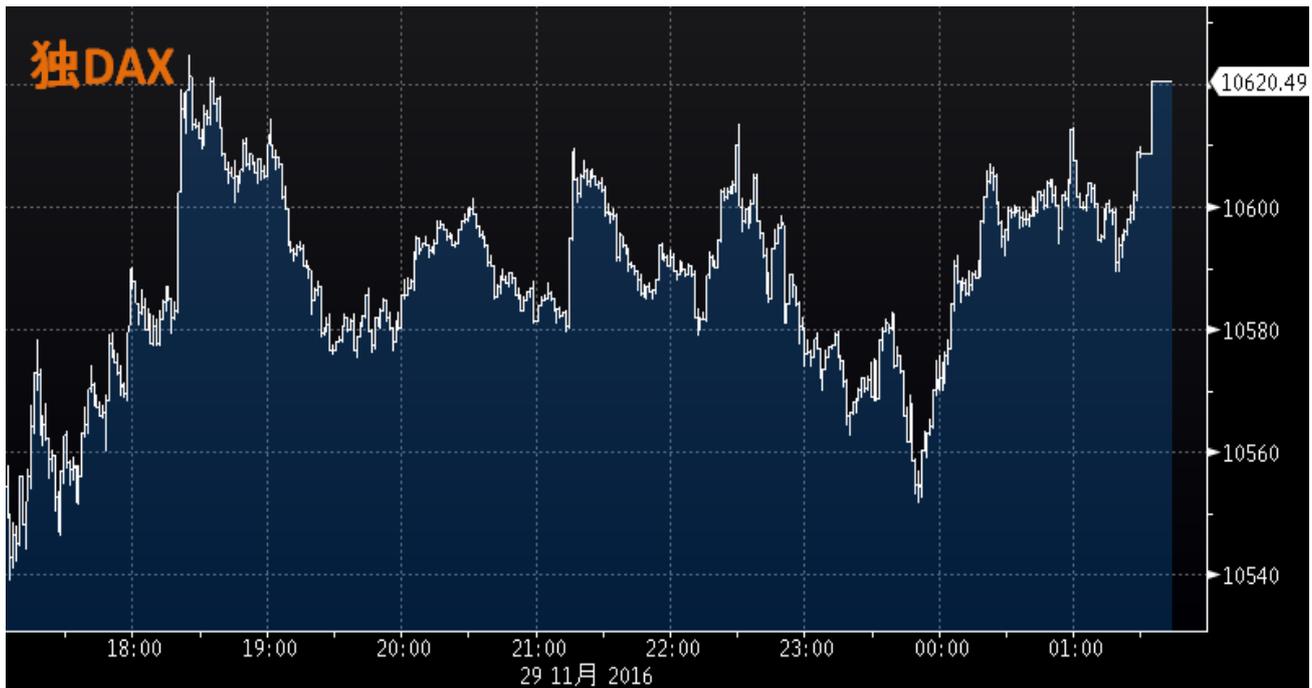
◀ 要人発言 ▶

パウエル FRB 理事

- ・「利上げの根拠は、11 月 2 日以降明らかに強まった」
- ・「インフラ支出は生産性を押し上げる可能性も」
- ・「効果的な財政・規制政策が必要」

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。OPEC が定時総会で原油減産を最終決定できるかどうか見極めたいと全般的に様子見気分が強く、方向感に欠ける動きが続いた。



出所 : Bloomberg

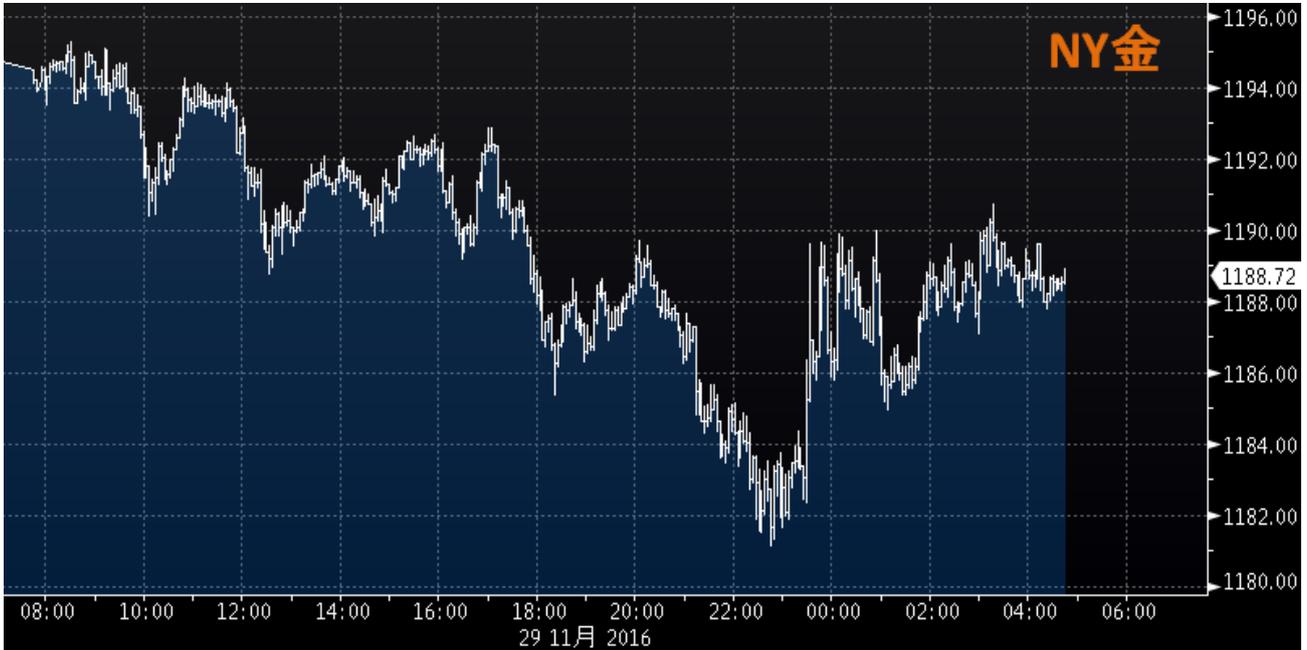
◀ ポイント ▶

FRB は、公定歩合会合の議事録を公表した。全 12 地区中 9 地区の連銀が公定歩合引き上げを主張した。経済の力強さや今後の見通しの明るさ、雇用市場の引き締まりを背景に、物価上昇率が目標の 2% に中期的に近づいていくとして、公定歩合を 0.25% 引き上げの 1.25% を求めた。その他の理事は、物価目標が 2% を下回って推移していることを理由に現状維持を主張。最終的に公定歩合の維持が決まった。

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 2.90 ドル安の 1 オンス=1187.90 ドルで取引を終了した。

NY 金は、7-9 月期の米 GDP 改定値が市場予想を上回り、ドルが円などに対して上昇したことから、ドルの代替資産としての需要が後退したとの見方から売りが優勢となった。

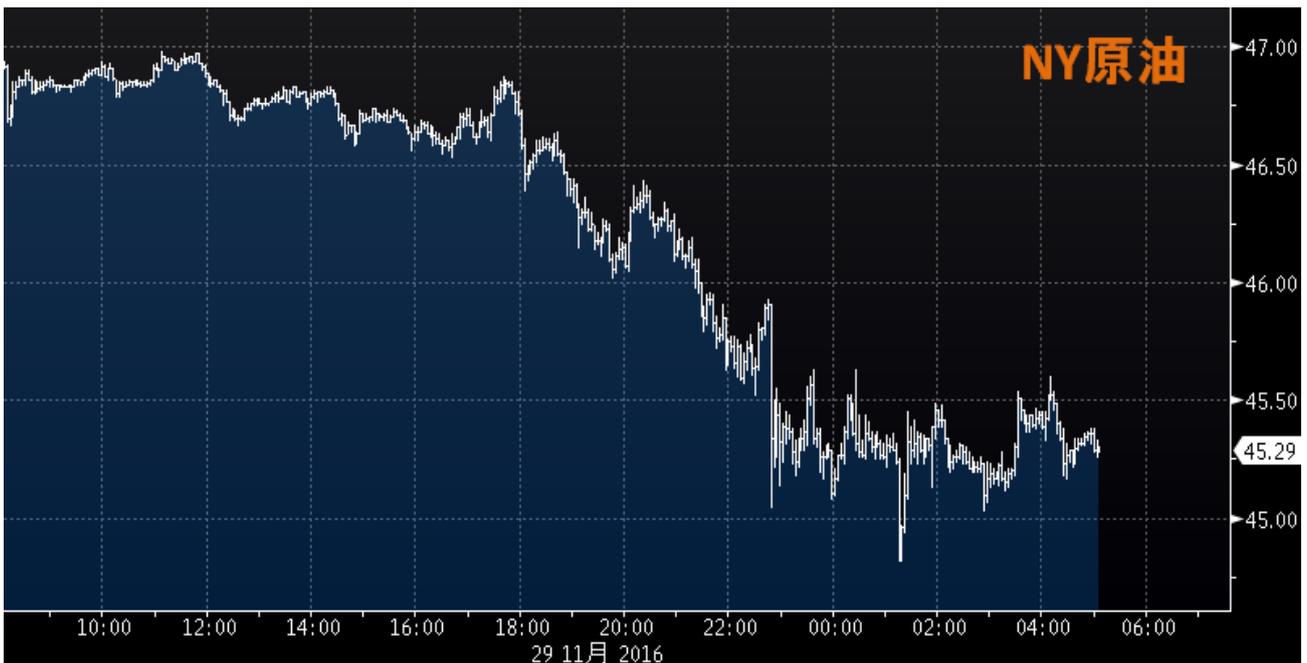


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.85 ドル安の 1 バレル=45.23 ドルで取引を終了した。

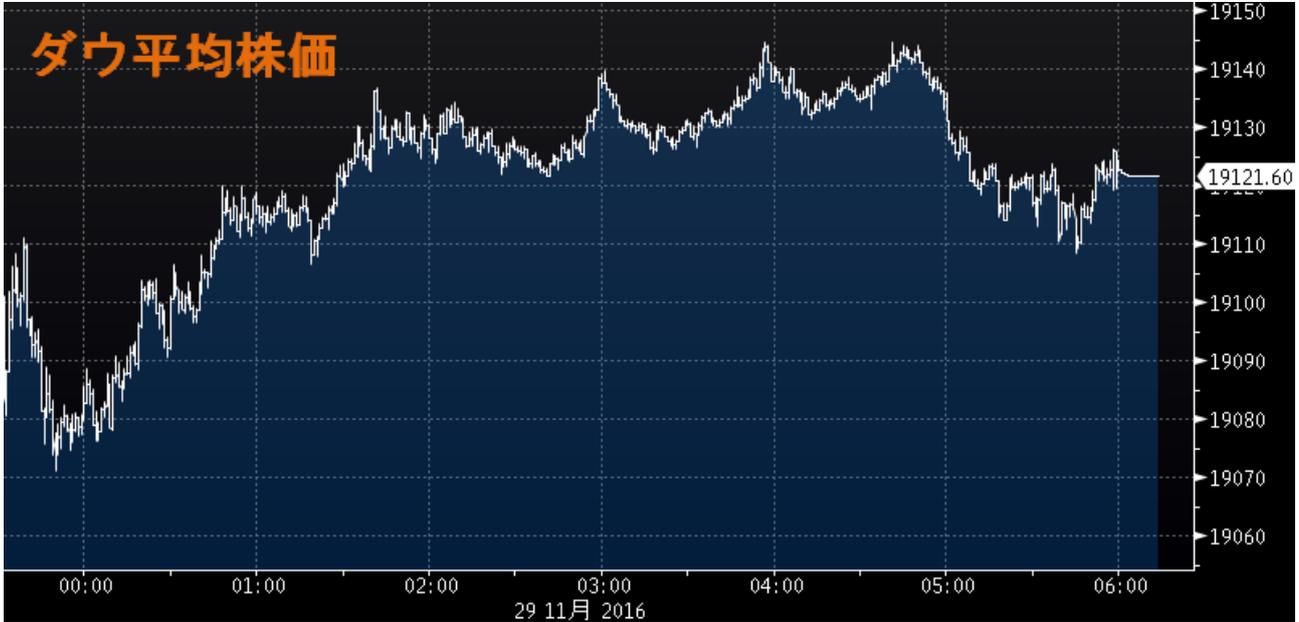
NY 原油は、原油減産の最終決定を目指す OPEC 総会を前に、加盟国の生産枠を巡る協議が難航しているとの見方が広がり、売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、OPECの減産協議が不調に終わるとの観測から原油相場が下落したことで売りが入る一方、米経済指標が堅調な結果となったことから買いも入り、主要株価は売り買い交錯するもみ合いの展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤小動きとなったが、その後46ドル高まで上昇する動きとなった。ただ主要なイベントを控えて限定的な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが堅調な動きとなった。その後、OPEC総会を控えて原油価格が下落したことや、米債券利回りが低下したことから、ドル売り・円買いとなり、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。